神流川の魚類調査実施のおしらせ

独立行政法人水資源機構下久保ダム管理所では、神流川ビジョン推進協議会、群馬県立万場高等学校及び群馬県水産試験場等と協働で、神流川の魚類調査を下記のとおり実施します。

記

○開催日　：令和２年７月９日（木）
　　現地調査　１０：２０～１２：２０（於：柏木堰堤）
　　※雨天あるいは川の状況により調査を中止する場合があります。

○場　　所：群馬県多野郡神流町柏木　柏木砂防堰堤付近（大寄公園）

○調査内容：魚の採捕、魚種の判定、魚体の測定（長さ・重さの計測）

※取材は、現地調査場所（10:20～12:00 頃まで）にお越し下さい。

※「新型コロナウィルス感染症対策のため、来所の際は「マスクの着用」や「人と人との距離確保」など、「新しい生活様式」に沿った対応をお願いします。」

令和２年７月２日

独立行政法人水資源機構　下久保ダム管理所

配布先
藤岡記者クラブ
熊谷記者クラブ

問い合わせ先
独立行政法人水資源機構　下久保ダム管理所
所長代理（管理）　田村
TEL　０２７４－５２－２７４６

＜参考資料＞

ー　令和２年度 神流川の魚類調査　ー

下久保ダム管理所では、神流川ビジョン推進協議会（注１）の活動の一環として、平成 17 年度より神流湖（かんなこ）より遡上するアユをはじめ、神流川に生息する魚類調査を行っていますが、今年度は以下のとおり実施します。

本調査は、地域活性化を目的とした神流川ビジョン推進協議会、群馬県立万場（まんば）高等学校、群馬県水産試験場及び南甘漁業協同組合と協働で実施するものです。

下久保ダム貯水池を含む神流川上流域では、アユ、オイカワ、ウグイ、ギバチなど１０種類以上の魚が生息しており、万場高等学校（水産コース）の生徒が、河川で魚に触れ、生態を学ぶことができる貴重な体験として群馬県水産試験場の方の指導のもとに神流川の魚の採捕、魚種の判定、魚体測定（長さ・重さの計測）を行います。

１．実施日時

令和２年７月９日（木）　　10：20～12：20

〈荒天による魚類中止の判断：７月８日（水）１３時 00 分〉

２．魚類調査の時間

魚類調査　10：20～12：20

３．調査場所

現地調査　：群馬県神流町柏木　柏木砂防堰堤付近（大寄（おおより）公園）

※【予備日】

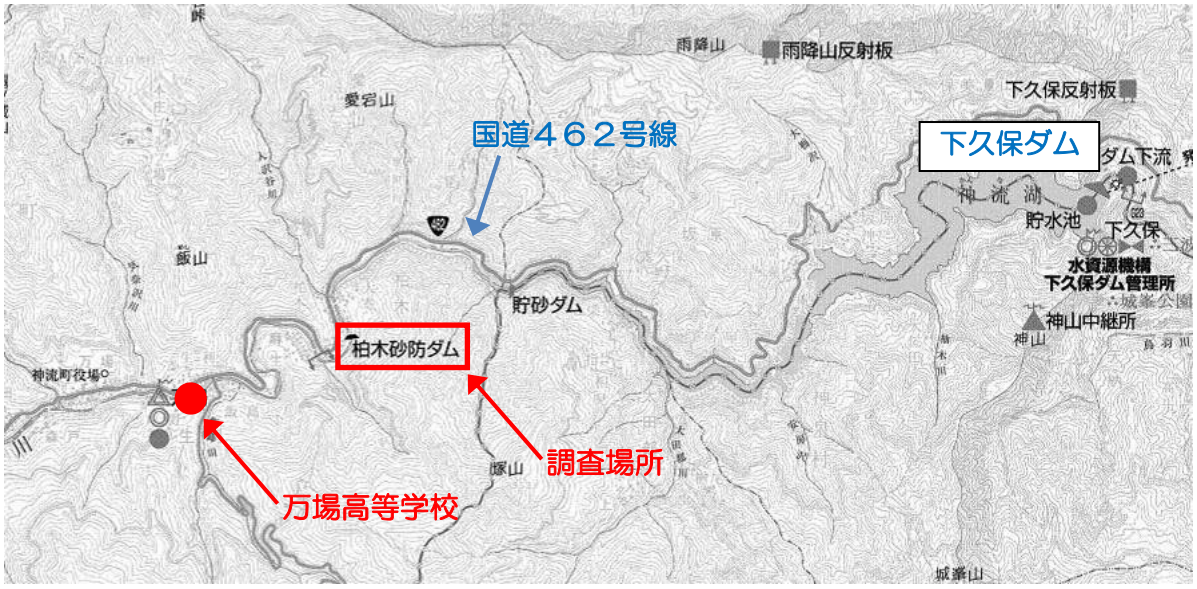
実施日（魚類調査）　令和２年７月１５日（水）　10：00～12：00

（注１）神流川ビジョン推進協議会

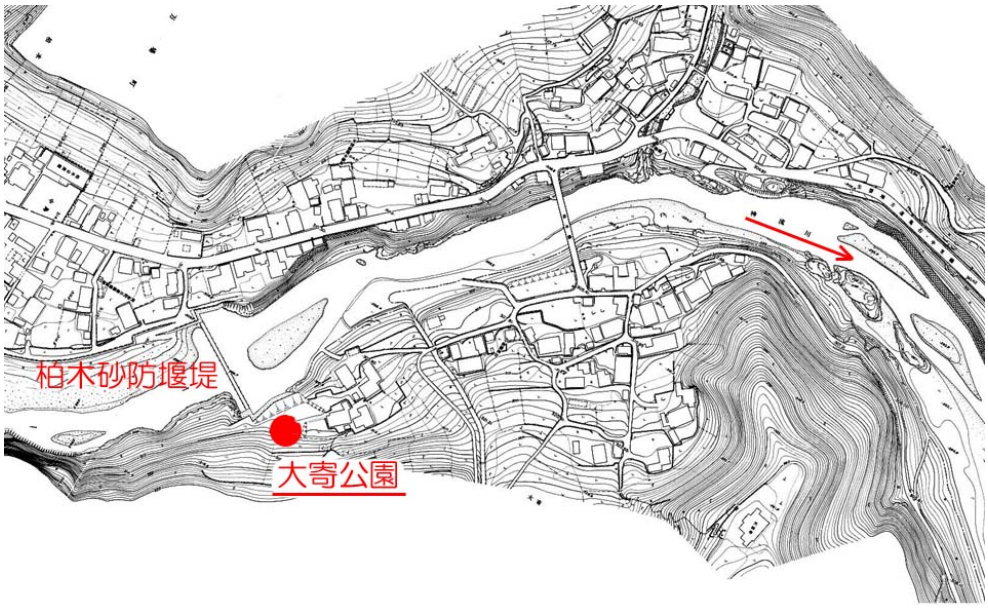
下久保ダムを活かして、豊かな自然環境の保全や水源地域の活性化を目指し、平成１５年に下久保ダム水源地域ビジョン推進協議会として設立。その後、水源地域のみならず神流川沿川全体を包括した取組みとすべく平成１８年１１月に神流川ビジョン推進協議会と改称し、河川管理者や水源地域の行政及び沿川の住民や団体で組織されたもの。ダムを活かした水源地域の自立的・継続的な活性化を目的に清掃活動、上下流交流会、神流川・神流湖産水産資源活用会議などの活動を行っている。

＜参考　過年度の実施状況＞

（位置図）



（調査場所拡大図）



（平成 30 年度の調査状況）※令和元年度は増水のため中止

（詳しくはこちら　https://www.water.go.jp/kanto/simokubo/news/press/pdf/bin18080201.pdf ）